



2025年6月11日

各 位

会社名 太陽ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 佐藤 英志
(コード:4626 東京証券取引所 プライム市場)
問合せ先 常務執行役員 CFO 富岡 さやか
(TEL 03-5953-5200 (代表))

MSCI ESG レーティング「A」評価獲得に関するお知らせ

当社は、MSCI Inc. (米国モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル、以下「MSCI」)が発行するMSCI ESGレーティングにおいて、「A」評価を獲得しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

当社は、MSCI ESGレーティングにおいて、2019年には「B」評価を受け、その後2021年から2024年にかけて「BBB」評価へと着実に改善し、今回初めて「A」評価を獲得しました。今回の評価では、「Carbon Emissions (炭素排出)」や「Corporate Governance (コーポレート・ガバナンス)」において高い評価を得たことから、当社の環境及びコーポレート・ガバナンスをはじめとしたサステナビリティに関する取り組みが評価されたと認識しています。

今後も、これらサステナビリティへの取り組みを強化・継続するとともに、積極的な情報開示に努め、持続可能な社会と中長期的な企業価値向上を実現してまいります。また、経営理念である「楽しい社会の実現」に向けこれからも挑戦を続けていきます。

■ 当社の主な取り組み

・ 環境

当社グループは、長期経営構想「Beyond Imagination 2030」の基本方針の一つに「SDGs(持続可能な開発目標)への取り組み強化」を掲げ、水上太陽光発電事業をはじめとしたサステナビリティについての取り組みを積極的に行っています。気候変動対策はグローバル社会が直面している重要な社会課題であり、当社にとっても重要な経営課題の一つであることから、サステナビリティ推進委員会を設置し、TCFDに基づく情報開示を積極的に行っています。

・ ガバナンス

当社は、カンパニー制の導入や委任型執行役員制度の導入等の組織体制を整備し、監督機能と業務執行機能の分離を進めるなかで、2024年6月に監査等委員会設置会社へ移行し、取締役会のモニタリング機能を強化してきました。また、社外取締役による取締役会議長への登用により、実効的な監督体制を確保する等、更なるコーポレート・ガバナンスの充実と企業価値の向上を図っています。

当社グループのサステナビリティに関する取り組みのご紹介

統合報告書 2024 : https://www.taiyo-hd.co.jp/cms/wp-content/uploads/2024/10/20241031_02.pdf

■ MSCI ESGレーティング

企業の環境・社会・ガバナンスに関する取り組みを調査・分析し、最上位評価「AAA」から最下位評価「CCC」の7段階で格付けしたもので、ESG投資の世界的な指標とされています。

■ MSCI

米国・ニューヨークに拠点を置く金融サービス企業で、ニューヨーク証券取引所に上場しており、大規模公的年金や資産運用会社、ヘッジファンド等、世界中の機関投資家に対して、投資意思決定をサポートする様々なツールを提供しています。

MSCI HP : <https://www.msci.com/>

以上